

いつもお世話になっております。ファクスお借りして恐縮です。ご発注よろしく願いいたします。
書肆心水 FAX 03-6677-0682

法律と哲学／法律の哲学

関係性・歴史性・普遍性

高柳賢三

現にある法とあるべき法 —— 法律論になぜ哲学が必要か

世界的で歴史的な広い視野から法哲学の立場を明らかにする

1) 法律の論理的、普遍的特質を明らかにすること、2) 法律の歴史的発展の基礎とその一般的特性を明らかにすること、3) 法律の合理的基礎としての正義理想を内省し、これによって成定法律秩序を評価すること。——この三つの任務をもつものとしての法律哲学の立場を初学者に対して示す、恰好の総合的法哲学入門。

高柳賢三 (たかやなぎ・けんぞう)
1887-1967。東京帝大法科大卒業。同大学助教授を経て、1921年東京帝大法学部教授、1948年退官(名誉教授)。東京裁判で弁護人を務め、貴族院議員として新憲法案の審議に参加。憲法調査会会長、学士院会員、米国学士院会員、国際比較法学会正会員、国際仲裁裁判所裁判官。主要著訳書『英米法講義』(1『英米法源理論』2『英国公法の理論』3『司法権の優位』4『英米法の基礎』)、『天皇・憲法第九条』、『極東裁判と国際法』、ロスコー・パウンド『法と道徳』(共訳)他。

索引	第三章	第二章	第一章	第三編	第四章	第三章	第二章	第一章	第二編	第三章	第二章	第一章	第一編
	法律の合理的基礎	法律の成定的発現	法律の概念	法律哲学の体系	近代の法律哲学	キリスト教及び中世の法律哲学	ローマの法律家	ギリシャ哲学	法律哲学の歴史	法律哲学と他の学問との関連	法律哲学の研究手法	法律哲学の対象及び任務	緒論

新刊
注文扱返条付
清藤

番線等

部

法律と哲学／法律の哲学
 関係性・歴史性・普遍性
 高柳賢三
 ISBN978-4-910213-25-5 C0032
 A5判上製 320頁 本体6900円+税

3月末刊

FAX 03-6677-0682 でんわ 03-6677-0101 書肆心水
<http://www.shoshi-shinsui.com> Shoshi Shinsui